

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	先端技術を駆使したHLA多型・進化・疾病に関する統合的研究
領域代表者	笹月 健彦（九州大学・高等研究院・特別主幹教授）
研究期間	平成22年度～平成26年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>ヒトの主要組織適合遺伝子複合体（MHC）であるHLAは、多様な病原体由来のペプチドと結合するMHC分子をコードし、抗原特異的免疫応答を制御している。また、HLAはゲノムの中で多型性に富む遺伝子群であり、人種に特有のHLAハプロタイプが存在する。本研究領域は、日本人特有のHLAを中心として、HLAの成り立ちの進化的な解明を目指すとともに、HLAと免疫関連疾患の原因の究明、ペプチドの結合阻止分子を同定し、治療戦略の道を拓くことを目的としている。ゲノムリシーケンシング、立体構造解析、医薬分子探索等の技術の進展を捉え、一時期停滞した感のあったHLA研究の新たな統合的展開を目指す本研究領域は重要な提案である。研究計画も日本並びに世界のHLA研究を先導してきた領域代表者を中心として、本研究分野の先導的研究者が最新の理論・技術を駆使して取り組み、その目的達成に向けた具体的なものであり、着実な研究成果が期待できる。若手研究者の海外研究の為の派遣などユニークな計画を立案している点も評価できる。HLAの進化の考察、創薬開発に向けた重要な情報が提供されることが期待できる。</p>